

ふれあい・いきいきサロン 高齢者サロンについて



ふれあい・いきいきサロンってなに？

地域のみんなが気軽に集って、楽しい

「地域の居場所、身近な通いの場」

地域住民が気軽に集まり、いっしょになって活動内容を決め、ふれあいを通じて、「仲間づくり」、「生きがいづくり」、「健康づくり」、「支えあい」の輪を広げる活動です。

ふれあい・いきいきサロンの効果

参加者にとって

- ① 孤立・閉じこもりの防止
- ② 仲間づくりの場
- ③ 生きがい・自己実現が図れる
- ④ 生活に役立つ情報提供・交換の場

地域にとって

- ① 異世代交流・地域交流の拠点
- ② 生活上の心配ごと・困りごとの発見・把握の場
- ③ 地域の福祉力が高まる

「健康づくり」で注目される身近な通いの場 ふれあい・いきいきサロン

注目される3つの理由

- ① からだ・こころ・地域の健康づくりにつながる
- ② 仲間といっしょに、気軽に楽しい健康づくりができる
- ③ 個人の健康だけではなく、地域全体が元気になる

ポイント

健康づくりに大切なのは「仲間」！

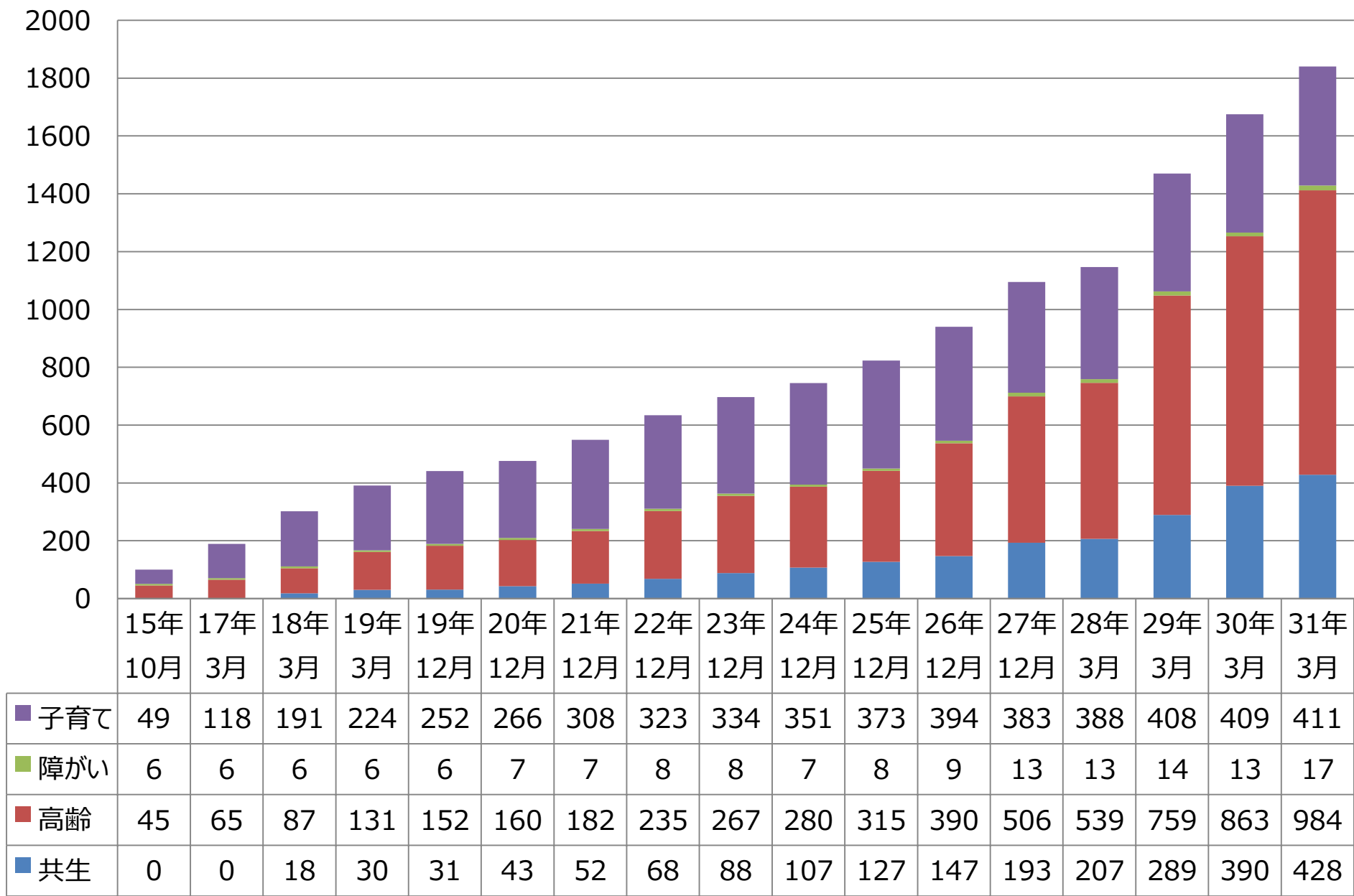
市内にはどんなサロンがあるの？

「**気軽に**」「**楽しく**」「**みんなでいっしょに**」をキーワードに、市内には、令和元年9月末時点で1,895か所のサロンがあり、いろいろな活動が行われています。

共生型	高齢者	障がい者	子育て	合計
446	1,025	19	405	1,895

高齢者サロン等1,471

ふれあい・いきいきサロン設置数推移（社協調べ） 平成31年度末現在



ふれあい・いきいきサロン区別設置数（社協調べ）

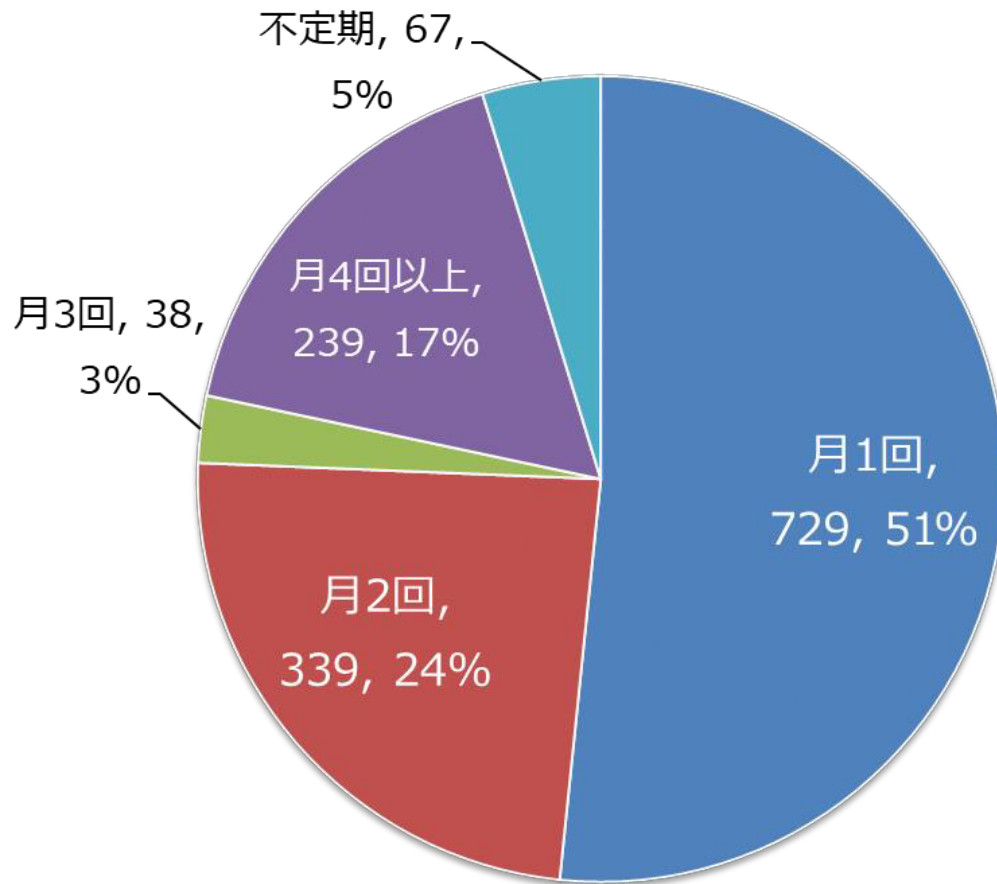
令和元年9月末現在

	共生型	高齢者	障がい者	子育て	合計
千種	24	46	2	20	92
東	26	31	1	18	76
北	34	76	2	29	141
西	16	86	0	27	129
中村	20	89	0	29	138
中	14	41	1	15	71
昭和	12	53	0	26	91
瑞穂	36	25	1	15	77
熱田	28	34	1	13	76
中川	37	86	1	30	154
港	27	93	1	28	149
南	45	64	0	35	144
守山	35	76	1	26	138
緑	47	119	3	40	209
名東	3	80	1	30	114
天白	42	26	4	24	96
計	446	1,025	19	405	1,895

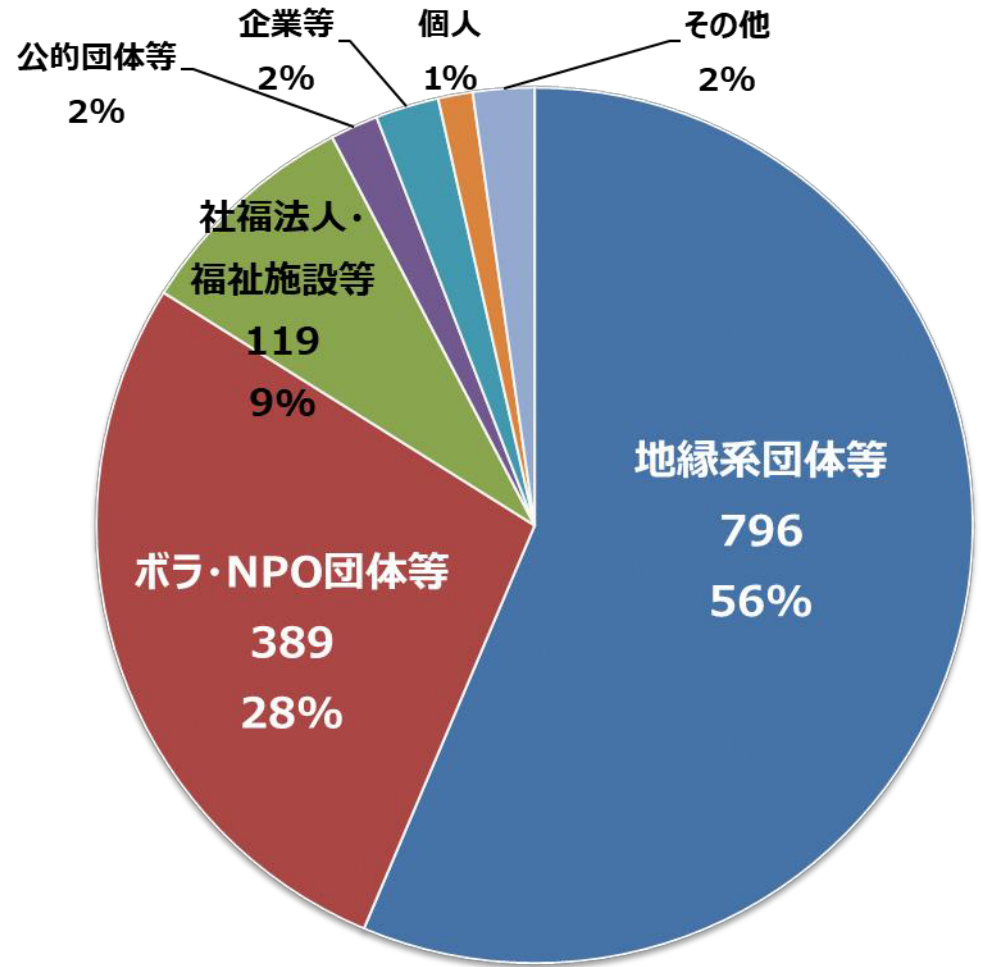
詳しくは、NAGOYAかいごネットで、事業所検索

(平成31年3月末)

《開催頻度》



《実施団体》



《頻度の高いプログラム & 特に喜ばれているプログラム》

順位	項目	割合	
		頻度の高い	喜ばれている
1	お茶とおしゃべり	79%	62%
2	健康体操やレクリエーションスポーツ	53%	41%
3	音楽活動（歌唱や楽器演奏）	37%	30%
4	創作活動（手芸等）	33%	24%
5	脳トレーニング	28%	13%

（平成30年度高齢者・共生型サロン実態把握調査報告書より）

≪充実すべきプログラム 男女別≫

順位	女性（752名）		男性（156名）	
	項目	割合	項目	割合
1	健康体操	67%	健康体操	46%
2	お茶とおしゃべり	51%	お茶とおしゃべり	39%
3	脳トレ	42%	囲碁・将棋・麻雀	38%
4	健康講話	38%	健康講話	35%
5	音楽活動	36%	脳トレ	31%

※ 男性は、3位が囲碁・将棋・麻雀38%だが女性10%、「創作活動（手芸など）」は女性29%だが男性9%と男女の差が大きい

（平成30年度高齢者・共生型サロン実態把握調査報告書より）

<<サロンの一層の発展のために必要だと思うこと>>

順位	項目	割合	
1	サロン活動の周知	71%	5割以上のサロン
2	新たな担い手の確保	65%	
3	継続的な運営助成・補助	60%	
4	男性の参加者増	52%	
5	参加対象世代の拡大	37%	3割以上のサロン
6	サロンでの見守りや助け合いの活動	32%	
7	社会福祉施設との連携	32%	
8	他のサロンとの交流・情報交換	32%	

(平成30年度高齢者・共生型サロン実態把握調査報告書より)



健康な体をつくる

①開催場所 ②開催回数 ③参加人数 ④運営者数 ⑤参加費

健康な体をつくるため、体操や健康についての学習を、近所の集会所等に行います。専門職の指導を受けながら運動プログラムを中心に取り組んでいるサロンもあります。参加者同士で励まし合い、運動の効果を実感することで継続する意欲も高まります。



【活動例】 ●健康体操 ●健康講話 ●健康チェック

昭和区 こころん健康サロン松栄

①市営住宅集会所や生涯学習センター ②月4回 ③25人程度 ④3人 ⑤1回300円



知識を学ぶ

①開催場所 ②開催回数 ③参加人数 ④運営者数 ⑤参加費

新しい知識や技術の取得にチャレンジすることで、脳の働きを活発にします。参加者の興味があるテーマを毎回決めて活動しているサロンもあります。仲間と一緒に学ぶことで、より知識が深まります。

【活動例】 ●男の料理 ●地域の史跡めぐり ●木の剪定



守山区 ぴんころ男会

①区社会福祉協議会研修室など ②月4回 ③15人 ④なし ⑤なし



人との交流を深める

特に決まったプログラムはなく、お茶を飲んだり、おしゃべりをしたり気軽に人との交流を楽しむ場です。サロンへ通うことが外出するきっかけとなり、近所の顔見知りが増え、サロンの場以外での交流が広がります。

【活動例】 ●茶話会 ●手芸 ●季節の行事



熱田区 六野サロン・結

①団地内集会室 ②月1回 ③30人 ④4人 ⑤100円



社会に貢献する

①開催場所 ②開催回数 ③参加人数 ④運営者数 ⑤参加費

地域のための活動をすることで、自分の役割を明確に感じ、張り合いを持って継続することができます。高齢者だけでなく、地域住民すべてにとっても意味のある活動になります。

【活動例】 ●孤立防止を目的としたサロン ●自主防災学習
●地域住民向けイベントの運営協力

緑区 土曜サロン鳴子

①集会所 ②月4回 ③30人 ④10人 ⑤50円



趣味を楽しむ

趣味の活動を仲間と楽しみながら行います。共通の趣味がある仲間が増えることで、人と人がつながっていきます。

【活動例】 ●手芸 ●囲碁将棋 ●歌 ●クラフト

東区 ふれあいサロンしんめい

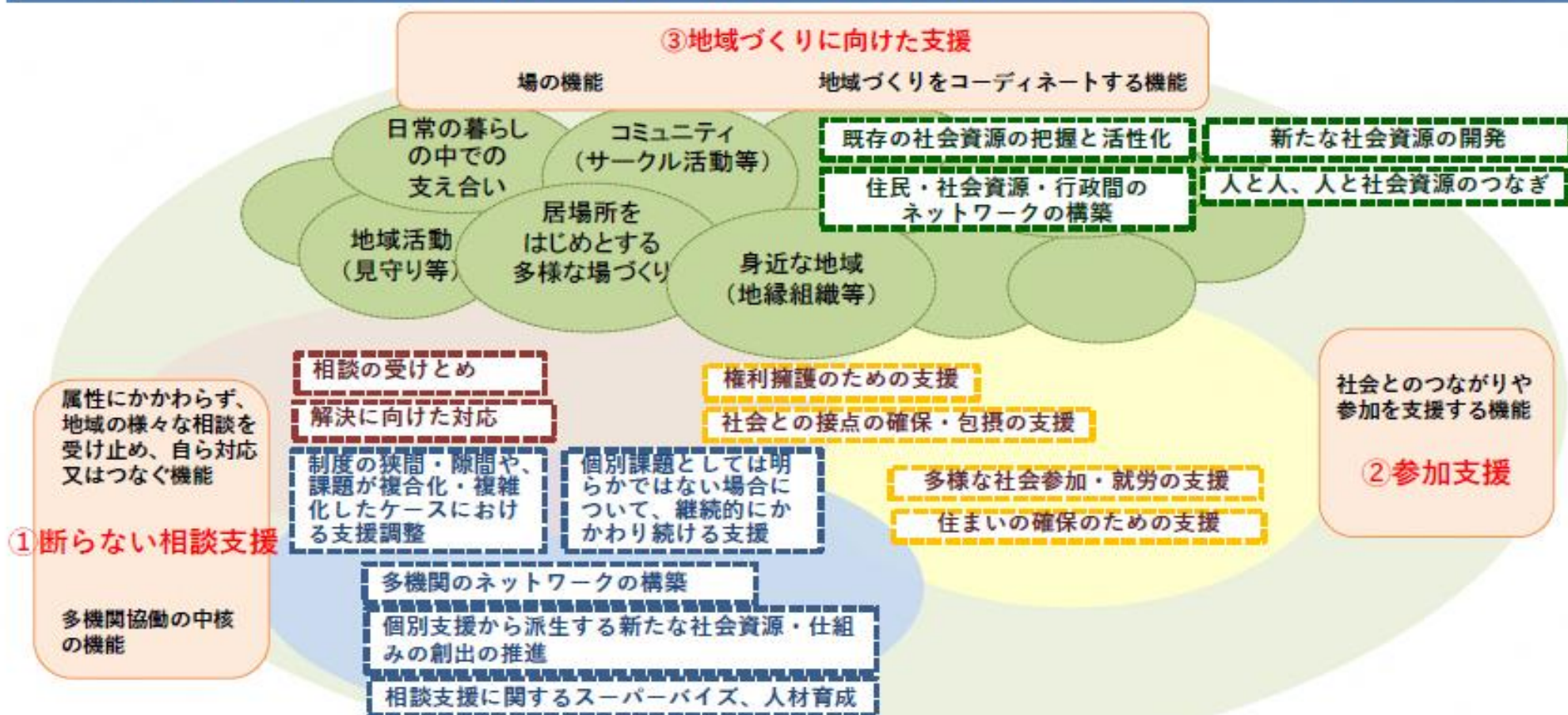
①神社 集会室 ②8回 ③20人程度 ④2人 ⑤300円



新たな包括的な支援の機能等について

令和元年10月15日「第6回地域共生社会に向けた包括的支援と多様な参加・協働の推進に関する検討会」資料(一部改定)

- ◆ 市町村がそれぞれの実情に応じて包括的な支援体制を整備するため、以下の支援を一体的に実施する事業を創設
 - ①断らない相談支援
 - ②参加支援(社会とのつながりや参加の支援)
 - ③地域づくりに向けた支援
- ◆ 本事業全体の理念は、アウトリーチを含む早期の支援、本人・世帯を包括的に受け止め支える支援、本人を中心とし、本人の力を引き出す支援、信頼関係を基盤とした継続的な支援、地域とのつながりや関係性づくりを行う支援である。



子ども食堂

市内56カ所



食を通じた、子どもたちを中心においた、地域の交流拠点